

生産ソフトウェアの相互運用のための機能記述の実用化に関する国際標準化

経済産業省：戦略的国際標準化加速事業(政府戦略分野に係る国際標準開発活動)【平成28年度から3ヶ年計画の3年度目】

平成30年度 事業計画

ISO 16300(Interoperability of capability units for manufacturing application solutions)のPart1のIS¹⁾ 登録、Part2／Part4のDIS²⁾投票を目指す。

Part1：生産アプリケーションの機能要件と相互運用性基準

Part2：機能ユニット記述テンプレートおよびカタログ仕様、Part4：機能ユニットアセスメント

平成28～30年度 成果

1) ISO 16300シリーズ (製造アプリケーションソリューションのための機能ユニットの相互運用性)規格開発

✓ Part1: Interoperability criteria of capability units per application requirements

生産アプリケーションシステムの機能要件と相互運用性基準を表すための、機能要素と構成ルールを定義

✓ Part2: Capability templates and software unit cataloguing

生産アプリケーションシステムへの要求とその要求に合わせてシステムを構成することに関連するMSU(Manufacturing Software Unit)の相互運用性(interoperability)について、機能仕様の記述テンプレートとカタログ情報を規定

✓ Part3: Verification and validation of interoperability among capability units

MSUの相互運用性について、検証法と検証ツールに関して規定

✓ Part4: Capability unit assessment for the manufacturing application

生産アプリケーションシステムへの要求とその要求に合わせたシステム構成に関連するCapability unitのアセスメントについて規定

2) ISO TC184国内対策委員会運営

✓ スマートマニファクチャリングに関する国際標準化の動きの共有と国際標準規格について審議を実施

総括

ISO 16300 Part1およびPart3のIS発行が完了した。Part2はFIDS投票が完了し、2019年春、Part4についてはDIS投票が完了し、2019年秋に夫々ISが発行される見込みである。生産ソフトウェアの部品化と再利用のためのケイパビリティ・プロファイリングを規定し、生産ソフトウェア設計の一層の効率化が期待できる。

【用語】 1) International Standard, 2) Draft International Standard, 3) Committee Draft